

## 【超長期的な環境ビジョン】

### 将来イメージ：「全市民が高い環境意識を持ち、環境負荷を極限まで低減している持続可能な地域社会」



るべき姿：○受け継がれてきた多様な自然とふれあうなかで、自然観や健やかな心を養いながら、豊かな人間関係を構築  
○積極的に先進的な技術などを取り入れ、経済活動や日常生活に伴う環境負荷を一層低減  
○各主体の有機的なパートナーシップにより、環境保全行動に対する理解が深まり、環境に配慮した行動を着実に実践

#### 【三世代後を見据えた市のデザイン（イメージワード）】

【市街地】  
○再生可能エネルギーの普及  
○省エネ型ビルやエコハウス  
○公共交通網の整備  
○省エネ・無公害車の利用

【山間地】  
○体験型・滞在型観光（エコツアーやスローライフ）の振興  
○森林の適正管理

【里地里山】  
○水に恵まれた田園地帯  
○豊富な農産物  
○生き物たちのにぎわい  
○季節を感じる風景

【川・海】  
○水の清らかさ・親水空間  
○川や海が育むいのち  
○持続可能な漁業  
○広大な干潟に集う渡り鳥

【くらし】  
○幼児期からの環境教育の充実  
○環境保全行動の日常化  
○つながりの強いコミュニティ  
○ボランティアによる美化活動

【地域社会】  
○環境保全型のライフ・ビジネスタイルの定着  
○経済発展と環境保全の両立  
○コンパクトシティ

#### ■[第一次]八代市環境基本計画の体系図

#### 実現のための第一段階

環境像

環境目標

基本方針

施策の方向性

みんなで創る「資源が循環する国際的なモデル都市」を目指して

人と自然が調和するまち やつしづ

＜自然環境の保全＞  
自然の豊かさと多様さを実感できるまち

九州山地から八代海まで、変化に富んだ豊かな自然環境を守り、育していくことは現代に生きる私たちの使命であり、次世代に対する責務と考えます。貴重な自然環境や生物多様性を保全するとともに、自然とふれあえる機会・場の創出に努めています。

○生き物たちのにぎわいを守り育てます  
○自然とふれあう機会や場をつくります  
○豊かな自然の恵みを大切にします

＜環境保全行動の促進＞  
ひとが環境を育み、環境がひとを育むまち

市民一人ひとりが高い環境意識を持ち、実際に行動していくことこそが、これから環境問題を解決する鍵であると考えます。子ども達への環境教育を積極的に展開し、環境保全行動に対する理解や機運を高めながら、協働による取り組みの輪を広げていきます。

○環境意識の高いひとづくりを進めます  
○誰もが進んで行動するしくみをつくります  
○環境行動の輪を広げます

＜生活環境の保全＞  
健やかで安心して暮らせるまち

誰もが健やかで安心して暮らしていくためには、空気や水などが健全な状態であるばかりではなく、地域が常に清潔に保たれているなど、快適な生活環境づくりがその基本と考えます。市民・市民団体、事業者、市それぞれが連携して、きれいで住みよい地域環境を創っていきます。

○きれいな空気や水を守ります  
○恵まれた水資源を大切にします  
○風土を活かしたきれいなまちづくりを進めます

＜地球環境問題への対応＞  
地球市民としてがんばるまち

私たちの生存基盤に関わる地球温暖化問題は、人為的な活動に起因しています。地球市民としての自覚を促し、省エネ・省資源対策や再生可能エネルギーの利活用を進めるなど、家庭や地域レベルで地球環境への負荷低減に対処していきます。

○地球市民として温暖化対策を進めます  
○足もとから地球環境の保全に貢献します

＜循環型社会の推進＞  
資源が循環する“ごみゼロ”のまち

持続可能な地域社会を創るために、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済構造から脱却し、限りある資源を有効に活用する循環型へと転換することが不可欠です。“もったいない”的考え方方に即した取組を推進し、ごみゼロを目指したまちづくりを進めていきます。

○“もったいない”精神でごみゼロを目指します  
○資源として循環させるしくみをつくります  
○ごみはきちんと処理します